

予算決算常任委員会報告

令和7年3月19日

ただ今から、予算決算常任委員会の委員長報告を行います。

令和7年3月5日午前9時55分から午後0時19分、及び6日午前9時56分から午後3時44分の間、美浜町議会全員協議会室において、委員13名及び議長の出席のもと本委員会を開催し、2月28日に本委員会に付託されました議案17件の審査を行いました。

当日は説明のため、町長、副町長、教育長、両統括幹、各課長及び会計管理者の出席を求め、職務執行のため議会事務局長を出席させました。

以下、本委員会で審査された主な点について申し上げます。

議案第1号 令和6年度美浜町一般会計補正予算（第7号）

総務課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑：地域情報化推進事業で、専門職派遣負担金が382万5,000円の減だが、職員の派遣が必要ないほど、庁内の情報化技術が進んだということか。

回答：庁舎の情報システム、町の情報化に詳しい職員をDX推進室長に配置して事業を進めており、当初予定していた民間からの専門職派遣負担金が不要となり減額したものである。

質疑：予算500万円であった若者世帯住宅取得支援事業補助が、300万円の減額になっているが、これは支援実績が2件にとどまったということか。

回答：若者世帯補助は、39歳以下の夫婦に限定しており、その実績が2件であった。住宅取得については、これ以外にも補助制度があって実績もあり、併せて定住化にはつながっている。

質疑：トイレトレーラー車両購入費2,739万円について、車両はイベント等に活用するとのことだが、災害時の使用の際にどこに設置するか等を決めているのか。

回答：災害時には、やはり拠点となる避難所への設置になると思うが、移動式であるため機動的に運用する。

質疑：トイレトレーラーの維持管理はどうするのか。

回答：水洗の汲み取り方式であり、業者に委託してメンテナンスしていく。

質疑：トイレトレーラーの購入に併せ450万4千円の公用車も購入しているが、この車両の購入目的は何か。

回答：トイレトレーラーの場合は、牽引車が必要になるため新たに購入する。その車両を含めて活用する。

質疑：牽引車の運転は別途免許が必要だと思うが、特定の職員に過度な負担が生じないようにしてほしい。

回答：職員の牽引免許取得の予算を計上している。負担については、過度にならないよう、今後、検討していきたい。

質疑：町勢要覧作成事業319万円が次年度繰り越しになっているが、町の沿革等はホームページに掲載されてはいるものの、検索しづらいので改良願いたい。

回答：今後検討していきたい。

議案第 2 号 令和 6 年度美浜町診療所事業特別会計補正予算（第 2 号）

健康福祉課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

議案第 3 号 令和 6 年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算（第 4 号）

健康福祉課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑：介護認定調査費が 1 1 4 万円ほど減額になっているが、その理由は何か。

回答：当初予算で不足が出ないように計上しており、見込み以上に減少した訳ではない。

議案第 4 号 令和 6 年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 号）

上下水道課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑：町で給水車を購入したと思うが、それ以降に利用した実績はあるのか。

回答：断水等の大きな事故はなく使用実績はないが、課員が週に 2 回程度運転し、維持管理に努めている。

議案第 5 号 令和 6 年度美浜町産業団地事業特別会計補正予算（第 1 号）

産業政策課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

議案第 6 号 令和 6 年度美浜町住宅団地事業特別会計補正予算（第 3 号）

土木建築課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

議案第 7 号 令和 6 年度美浜町道路用地取得事業特別会計補正予算（第 1 号）

土木建築課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

議案第 8 号 令和 6 年度美浜町下水道事業会計補正予算（第 4 号）

上下水道課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

議案第 9 号 令和 7 年度美浜町一般会計予算

総務課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

<町の予算概要>

質疑：令和 6 年度に比べ、町税歳入が約 1 億 8, 3 0 0 万円減少しているが、その

要因は何か。

回答：固定資産税が約３億円減少し、町民税も約２千万円減少する見込みである。

質疑：こうした歳入減が、町の景況感に影響すると考えるか。

回答：固定資産の中の償却資産の減額が大きく、今後も固定資産税が毎年３億円程度減少する見込みである。町民税は今後変わる可能性もあるが、当初予算段階では、これらの減少を見込み予算を充当している。

＜議会費から民生費＞

質疑：電算システム管理事業２億９，３８５万円であるが、地方公共団体情報システムへの移行ということで、昨年度に比して２億円以上増額になっているが、今後も大きな費用が必要なのか。

回答：国に対し財政措置を講じるように要望しているが、次年度以降も維持管理費用が必要である。

質疑：エネルギー環境教育体験館運営事業５，２７３万円であるが、財源は高速増殖炉サイクル技術研究開発推進交付金であるが、現時点の残金はいくらで、いつまで充当可能なのか。

回答：令和６年度末の残金は、１億９，３６１万２千円の見込みで、令和１１年度までこの基金を充当できる見込みである。

質疑：エネルギービジョン推進事業１６５万円であるが、この事業でどのような効果を期待しているのか。

回答：エネルギービジョン推進委員会において、展示学習レベル、地域振興レベル、商業レベルごとに取り組んでいることを確認し、例えば、第７次エネルギー基本計画にもあるペロブスカイト太陽電池が、町内の適当な施設に設置できないか等についても検討していきたい。

質疑：ＤＸ推進事業３，２９６万円であるが、「広報みはま」を全戸配布しているがあまり読まれずに捨てられるものもあり、デジタル配信を進めたらどうか。

回答：「広報みはま」はホームページにも掲載しているが、電子媒体を持たない方もいるので、現時点では紙媒体での配布は不可欠だと考える。各種紙媒体の配付回数の縮減や全戸配布から回覧への移行も進めており、並行してデジタル化も検討していく。

質疑：町のＤＸの中核はホームページだと思われる。今後の展開を考えれば、美浜のホームページには改善の余地が多々ある。見直しはしないのか。

回答：ホームページを通じて、事業や観光等の情報をわかりやすく伝えていくことは重要である。現状では十分でない部分もあるので、改善していきたい。

質疑：新たな出会い応援事業２４０万円であるが、出会いが、結婚・出産の起点になるので、テレビ局を巻き込んだイベント等、効果的なことができないか。

回答：食事会等の出会いの場を作ってきたが、あまり効果がなかった。敦賀市や若狭町も同じような状況と聞いており、エリアを広げて連携して開催できない

か検討している。

質疑：新たな出会い応援事業の支援金であるが、25歳以下の新婚世帯10万円、29歳以下の新婚世帯30万円である。結婚する人が減り人口減少が進んでいることを考えれば、一律30万円にならないのか。

回答：県の補助金制度を活用し、町と県が一緒になって、結婚した方に対するお祝い金という形で実施している。

お祝い金の増額がインセンティブにつながるものではないと思うが、効果も含め、経済面・雇用・生活環境面等、総合的にそういった環境が醸成できるような取組を進めていきたい。

質疑：介護人材確保支援事業140万円であるが、こうした事業により介護人材が増えつつあるのか、まだまだ不足しているのか。

回答：全町的に不足しており、そのためこのような奨励金を交付している。

質疑：介護業務就労祝金30万円は、外国籍の方も対象になるのか。

回答：外国籍の方も対象で実績もある。

質疑：保育園等維持管理事業1億8,655万円であるが、介護人材と同様に保育人材の確保も大きな課題である。以前は給与面で美浜の待遇がいいと言われたが最近はどうか。

回答：本町の保育士の給与は、各市町とも大差はないと考えている。

また、民間の保育士との格差と言われるが、現時点では年収ベースで公務員の保育士のほうが、若干処遇がいいと考えている。

いずれにしても、今後の人材不足を考えると処遇改善は重要だと思われる。

＜衛生費から商工費＞

質疑：火葬場管理運営事業2,273万円であるが、計画の中にはトイレの洋式化は含まれていないのか。

回答：当事業にはトイレの洋式化は含まれていないが、現地を確認し整備が必要であると確認しているので、今後検討を進めたい。

質疑：環境保全型農業支援事業526万円であるが、主な事業内容に畦畔除草・秋耕があり、多面的機能支払交付金事業にも畦畔の除草がある。重複して支援金の対象になるのか。

回答：環境保全型農業支援事業は、水稻栽培に関し特に除草方法などで、環境に優しい作付方法を実施する場合に補助するもので、多面的機能補助金制度とは別の制度である。しかし、双方の条件に合致し、事業実施主体及び活動組織に属していれば、重複して対象になり得る。

質疑：海面漁業振興事業196万円であるが、従来通りアワビ・サザエ・ヒラメの放流は継続するとしても、全国的に磯焼け等で海藻が育たず、稚貝が育たないといわれるので、この対策としてアルギニンを混ぜた海藻活性コンクリートを使用した対策を講じる予定はないのか。

回答：海水温上昇等により海藻が育たず、育成したものが死滅したりして漁獲高が減少している。県の水産振興センターとも協議して検討したい。

質疑：内水面漁業振興事業１，２９３万円の中に、毎年、久々子しじみブランド化推進事業１００万円があるが、もっとブランド化につながる事業に発展させることができないのか。

回答：高水温や塩分濃度の上昇等で漁獲量が伸びず、ブランド化につながる場所までは進んでいないのが現状であるが、漁獲量確保対策と併せてブランド化事業も進めていきたい。

質疑：有害鳥獣対策事業２，３６２万円であるが、シカとイノシシの捕獲頭数は増えていると思うがサルはそうでもない。サル対策として地獄檻の設置が言われているがその捕獲実績はどうか。

回答：一昨年宮代区に設置した地獄檻は、約半年で７０頭近くの捕獲実績がある。今年、要望のあった佐柿区と山上区に設置する予定で、管理について集落の協力が必要になるが、要望があれば県の予算の範囲内で設置していきたい。

質疑：若狭みはま魅力発信事業として、魅力アップ事業とは別に３，８７０万円という大きな費用を計上しているが、事業の主たる内容は何か。

回答：近年、企業等が発信する、プロが作成した営業コンテンツよりも、個人ユーザーが投稿した写真等のＳＮＳコンテンツの方が有効であることから、美浜について投稿しているユーザーを、美浜のＰＲを行う「アンバサダー」となっていただき、従来の出向宣伝に加えてＳＮＳマーケティングを実施したい。

質疑：レイクセンター運営事業５，８６３万円であるが、財源としての利用者の乗船料収入は１，６４４万円と見込んでおり、民間視点では運営費用総額との差額４，２１９万円の赤字ということになるが、そうした感覚はあるのか。

回答：収入の増大のみでなく支出の見直しも必要と考えている。今年はこのような計画で考えているが、年を追って黒字化するべく戦略を策定している。

質疑：遊覧船ガイド業務と施設管理業務は、シルバー人材センターに委託していると思うが、どういう契約になっているのか。

回答：シルバー人材センターの見積もりに基づいて業務委託契約をしており、また実績に基づき支払いするので、例えばシルバー人材センターが赤字を被るようなことはないと考えている。

質疑：若狭みはま魅力アップ事業２，２１０万円であるが、その中にある「光の波プロジェクト in 水晶浜」に要する費用はどれだけか。

回答：プロジェクトの名称を「青く輝く水晶浜プロジェクト」に変更したが、その費用は４７１万円である。

質疑：夜に海を照らしてどういう客層にアピールするのか、目的がよくわからない。

回答：海水浴シーズンには賑わう水晶浜も閑散期には観光客が少なく、その対策として新たに夏季以外の夜のイベントとして行う。水晶浜の魅力アップによる半島地域の振興、夜間開催による宿泊客の増加、翌日以降の周遊滞在型観光等に

つなげたい。

質疑：自然景観が売りの水晶浜を、2～3日間人工的にライトアップすることが、魅力アップや観光振興につながるとは思えない。むしろ自然景観を崩す恐れも感じる。例えば夕日が沈むシーンのPR等の、自然を生かした方策の方がよいと思うがどうか。

回答：敦賀半島地域の振興、特に宿泊客の増加が課題であり、本事業の実施に伴い美浜町全体の宿泊客の増加を目的に、出来れば継続的に開催していきたい。

質疑：毎年ゴールデンウィークに、水晶浜でデコトライブイベントがあり、かなりのお客が来るが宿泊する人はわずかで、このイベントが宿泊につながるのかは疑問である。例えば、夏の子供中心のアトラクション等を、この程度の大きな予算で開催する方がよくないか。

回答：初めてのイベントなのでわからないことも多くあるが、Y o u T u b e等のSNSで広く拡散される効果もあると思うので、理解いただきたい。

＜土木費から職員の給与等＞

質疑：災害時対応力強化事業7,835万円であるが、美浜中学校の体育館にエアコンを設置するということだが、町内の指定避難所の中で、エアコンが整備されていないのはどこか。もしあれば早急に整備すべきと思う。

回答：町内の小・中学校で空調設備がないのは、美浜中央小学校の体育館だけになるので、国の財源等を確保して早急に整備したい。

質疑：なびあすの音楽スタジオを借りようとしたが、5日以上前に予約しないと使用できないということで、空いているのに使用できなかった。どうして5日前なのか。

回答：条例施行規則で決まっているので、現状を確認して検討する。

質疑：「空いていたら使っていいよ」という様な、都会では難しいと思う寛容性が、地方の魅力になると思うので、急いで検討を進めるべきだと思うがどうか。

回答：地方に限らず寛容性は非常に大切だと思う。しかし、対応する職員の体制や、利用者の公平性を確保するには、一定のルールが必要であり、関係者の意見をよく聞いて進めたい。

質疑：放課後児童クラブ2,781万円であるが、民生費の中にも放課後子ども教室事業161万円がある。違いは何か。統合できないのか。

回答：放課後児童クラブは、保護者が仕事等で不在の児童を対象にお預かりするが、放課後子ども教室は、児童クラブの対象ではない児童の居場所として、地域の協力を得て月に数回程度開校しており、今後回数を増やしていきたい。

質疑：老朽危険家屋等対策事業380万円であるが、隣に大変危険な空き家があるが少しも対処されない。対策の優先度は土木建築課と区長の協議で決まると推測するが考え方を知りたい。

回答：当事業の中に倒伏防止工事費を計上しており、急ぎ調査・対応していきたい。

質疑：管財人の手が離れた所有者がいない空き家は、行政代執行で解体しても請求先がないということになるのか。

回答：そうした空き家等の財産について、清算人を相手取って行政代執行を行うことはできるが、結局は所有者不在のため解体費等は全額町の負担になる。

質疑：老朽危険空き家を防ぐには、例えば空き家になって1年経過したら、解体補助対象にする等の施策が必要で、敦賀市にもそうした制度があると聞かすが、考えを聞きたい。

回答：当面は相談窓口を強化し、源流対策にも力を入れていく。また先進地の事例を参考に補助制度の拡充も視野におき、地元の協力を得て取り組んでいく。

質疑：道路維持事業1億798万円であるが、北田菅浜線の通行止めはいつ解除できるのか。

回答：現在地質調査に入っており、その後対策工法の検討になるが、補助予算を確保して出来るだけ早く抜本対策をしたい。

なお通行止めについては、3月中に崩壊の危険性がある土砂を除去し、4月から片側通行を可能にする予定である。

議案第10号 令和7年度美浜町診療所事業特別会計予算

健康福祉課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑：丹生診療所であるが、以前は美浜発電所の方が健康診断等で使用されていたので、今後、地域振興の一環として例えば予防接種等で使用して貰えないか。

回答：利用促進として、診療所とも話をして進めていきたいと思う。

議案第11号 令和7年度美浜町国民健康保険事業特別会計予算

住民環境課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑：令和5年の1人当たり医療費が49万9,650円とあるが、県内では最も高額なのか。

回答：美浜町が県内で一番高い状況である。

質疑：国民健康保険の運営主体が県になったが、保険料率は各市町とも一律なのか。

回答：令和12年度より県下全市町の保険料率が統一されるが、それまでは各市町の料率が適用される。

質疑：一人当たりの医療費が高い美浜町は、保険料率が統一されれば税負担が重くなるということか。

回答：県全体での保険料率を考えると、現在の美浜町の料率は低い状態にあるので、県からも多分高くなると言われている。

議案第12号 令和7年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計予算

住民環境課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

議案第 13 号 令和 7 年度美浜町介護保険事業特別会計予算

健康福祉課長より説明を受けた後、質疑に入りました。
質疑はありませんでした。

議案第 14 号 令和 7 年度美浜町産業団地事業特別会計予算

産業政策課長より説明を受けた後、質疑に入りました。
質疑はありませんでした。

議案第 15 号 令和 7 年度美浜町住宅団地事業特別会計予算

土木建築課長より説明を受け、質疑に入りました。
質疑：主な経費の中の住宅分譲補助 1, 660 万円はどのような内容か。
回答：宅地購入に係る補助と住宅建築に係る補助で、申請者の状況等によって補助額が異なる。

議案第 16 号 令和 7 年度美浜町上水道事業会計予算

上下水道課長より説明を受けた後、質疑に入りました。
質疑はありませんでした。

議案第 17 号 令和 7 年度美浜町下水道事業会計予算

上下水道課長より説明を受け、質疑に入りました。
質疑はありませんでした。

以上の審査を終え、委員会採決を行いました結果を報告いたします。

議案第 1 号 令和 6 年度美浜町一般会計補正予算（第 7 号）

は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第 2 号 令和 6 年度美浜町診療所事業特別会計補正予算（第 2 号）

は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第 3 号 令和 6 年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算（第 4 号）

は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第 4 号 令和 6 年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 号）

は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第 5 号 令和 6 年度美浜町産業団地事業特別会計補正予算（第 1 号）
は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第 6 号 令和 6 年度美浜町住宅団地事業特別会計補正予算（第 3 号）
は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第 7 号 令和 6 年度美浜町道路用地取得事業特別会計補正予算（第 1 号）
は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第 8 号 令和 6 年度美浜町下水道事業会計補正予算（第 4 号）
は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第 9 号 令和 7 年度美浜町一般会計予算
は賛成多数をもって承認することに決しました。

議案第 10 号 令和 7 年度美浜町診療所事業特別会計予算
は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第 11 号 令和 7 年度美浜町国民健康保険事業特別会計予算
は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第 12 号 令和 7 年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計予算
は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第 13 号 令和 7 年度美浜町介護保険事業特別会計予算
は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第 14 号 令和 7 年度美浜町産業団地事業特別会計予算
は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第 15 号 令和 7 年度美浜町住宅団地事業特別会計予算
は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第 16 号 令和 7 年度美浜町上水道事業会計予算
は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第 17 号 令和 7 年度美浜町下水道事業会計予算
は全員賛成をもって承認することに決しました。

以上のとおり審査を終了し、6日午後3時44分本委員会を閉会しました。

これをもって、予算決算常任委員会の委員長報告を終わります。